



ICT(情報通信技術)を活用した教育の推進

子どもたちの「確かな学力」を育成するためには、分かりやすい授業を行うことが必要であり、その指導方法の一つとして、ICTを効果的に活用した授業を行うことが重要です。

また、社会の情報化が急速に進展する中で、子どもたちが情報や情報手段を主体的に活用していくための基礎的な資質(情報活用能力)を身に付け、情報社会に対応していく力を備えることや適切に情報を取り扱う能力を育成する情報モラルに関する教育が重要となります。

このような中、本町においては本年度8月に小中学校のコンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を再整備し、これらを適切に活用した学習活動の充実が図れました。

「秋季大運動会」開催

9月23日(月)に、友枝小学校と西吉富小学校で秋季大運動会が開催されました。両校の子どもたちは元気よく素晴らしい演技を見せてくださいました。また、保護者、地域の方々、来賓の皆様にも参加していただき、秋の楽しい一日を過ごすことができました。



▲友枝小学校



▲西吉富小学校

ねんりんピック全国大会ペタンク交流大会に上毛町チームが出場します!!

11月9日(土)から12日(火)にかけて和歌山県で開催される全国大会「ねんりんピック紀の国わかやま2019」に、昨年の福岡県ねんりん・スポーツ文化祭ペタンク交流大会で優勝した上毛町チームが出場します。上毛町から全国大会への出場は5大会連続、6回目となっており、「ベスト8以上を目指して頑張ってください」と町長から激励のことばがありました。



▲前列左から井上良治さん、筒井覚平さん、松井シズノさん、二反田和美さん



▲パソコンやタブレット、電子黒板を活用した授業

「新米フェア」開催

10月6日(日)さわやか市大平において新米フェアを開催しました。当日はステージイベントや新米の販売を行い、好評でした。



「西友枝とうろう祭」開催

9月28日(土)午後から、ゆいきららで「とうろう祭」などが開催され、しし鍋やつきたてのお餅などの秋の味覚を求めて多くの来場者でにぎわいました。夕方からは、竹灯籠に加えてチュラローンコーン大学附属小学校、友枝小学校、上毛中学校、耶馬渓中学校の児童・生徒が作成した紙灯籠などに火が灯されました。幻想的な雰囲気の中、上毛龍神太鼓や友枝神楽の躍動感あふれるステージイベントが行われ、大輪の打ち上げ花火が祭のフィナーレを飾りました。



広島・長崎爆心地中間点上毛町 未来へつなぐ平和の架け橋事業 平和記念式典

9月21日(土)、げんきの杜において平和記念式典が開催されました。式典には、松井広島市長・田上長崎市長をはじめ多くの来賓の方を迎えて、原爆死没者に対して黙とうした後、町長が「広島・長崎爆心地中間点上毛町平和宣言」を行い、世界恒久平和の願いを発信する新たな拠点となり、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現を誓いました。

式典では、被爆樹木2世植樹のお礼として町民の皆さんにご協力いただいたて作成した千羽鶴が両市長に贈られました。また、町内小学校の児童代表による「平和の誓い」が行われ、子どもたちが夢や希望をもてる平和な世界になってほしいと願いを伝え、これから先、互いに力を合わせ平和を築く一人になることを誓いました。

式典後の記念行事では、被爆者講演として広島東南ロータリークラブの錦織氏による体験談や広島に投下された原子爆弾の悲惨さや平和の大切さを演じる平和創作劇が「I PRAY」によって演じられました。



上毛町少年海外体験学習「バンコク友好の翼」

国立チュラローンコーン大学附属小学校児童が上毛町を訪れました

ストファミリーになった小学5年生児童、立命館アジア太平洋大学留学生らが参加し、イロハモミジを植樹しました。植樹を終えた後は、大平樂ぶらり劇場で交流会を行い、舞踊ショーの鑑賞を通じて交流しました。

この日の夕方は、西友枝体験交流センターゆいきららで開催された「とうろう祭」に参加し、訪日前にチュラローンコーン大学附属小学校児童が作成した紙灯籠に火を灯しました。他にも友枝神楽の披露やもちつきなど、日本の祭りを体験しました。祭りにはホストファミリーの5年生児童も参加し、両国の子どもたちの笑顔があふれた交流会になりました。

町はこの交流を通じて次世代を担う児童たちが、より広い視点に立った物の見方、考え方ができる国際感覚をもった青少年に育つことを期待しています。

